

ホームページをご覧の皆様へ

愛里病院リハビリテーション科は、急性期（お怪我やご病気をして間もない方）・外来リハビリテーションや介護予防事業に携わっています。

入院のリハビリテーションは、急性期病院ではありますが自宅に退院するまで患者様の支援ができることが特徴です。患者様の退院日が近づいてきたら、必要に応じてご自宅に伺い、ご自宅の中や屋外の確認をします。そして生活動作の練習やサービス調整を行います。また、ご本人様を始め医療相談員・ケアマネージャーや看護師などと共に退院前カンファレンスを行うこともあり、患者様が自宅に退院しても安心して在宅生活を送れるように対応しています。

外来のリハビリテーションでは、主に退行性変性疾患（変形性膝関節症や変形性股関節症等）や肩・腰痛にお悩みの方、当院を退院した方や大学病院で手術をした方々の対応をしています。夕方外来のリハビリテーションも行っており、学生さんや仕事帰りの方もおり、小学生からご高齢の方まで幅広い年齢層の方々のご希望に沿えるように対応しています。

介護予防事業では、当院をはじめ足立区の住区センターや会館で、健康教室や講演を行っています。また、地域総合型クラブとも関わりをもっており、近隣の公園で運動指導に携わっています。地域包括支援センターにも足を運んでおり、あんしん連絡会や地域ケア会議に参加をして、地域が抱えている課題や対応策を共有しています。

リハビリスタッフは言語聴覚士・作業療法士・理学療法士が在籍していますので、おひとりおひとりの状態に合わせて医療・介護スタッフと協力しながら皆様のご希望に沿えるよう支援をしております。

愛里病院リハビリテーション科一同

写真

家屋調査をしている風景



介護予防事業を行っている風景



嚥下機能訓練をしている風景



外来リハビリを行っている風景

